

様式 F-7-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成23年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(C) 4. 補助事業期間 平成23年度～平成25年度
5. 課題番号

2	3	5	0	0	8	9	2
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題 無文字社会の伝承染織技術の保存と学校における教育課程最適化プログラムの開発

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
6 0 3 2 2 4 3 4	シモダ アツコ 下田 敦子	人間生活文化研究所	助手

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

独自の文字を持たないタイ北部山地民(カレン)は口伝と身体技術の模倣により染織技術を伝承してきた。本研究では、項目反応理論を用いて、染織技術を易しいものから順番に(その最適な年齢において)習得していく「タイ文字による指導モジュール」を開発し、現地の学校において有効性を検証する。これにより、タイ語教育を受けているカレン若年世代(児童生徒)が、学校教育において染織技術を文字によっても習得できるように一般化を図る。

本年度は【1】指導者用、生徒用の教材(冊子)を試作した。指導者用：①学習環境基準(実習に適した安全条件、衛生条件(照度、温度湿度、通風)、物的条件を含む)、②単元数と単元ごとの指導案、③マニュアル(生徒用と同一)、④実習材料及び物品のリスト。②指導案と③マニュアルは、技術系統別に、項目反応理論によって求められた「困難度」の値が低い順番に指導、学習できるように作成した。生徒用：③マニュアル(指導者用と同一)と、⑤自己評価シートと学習チェックシート、⑥補足資料として音声によるカレン染織技術用語集(DVD)を作成した。

【2】染織技術教育活動を実践することが可能な学校(普通科教育の学校、寄宿制の職業訓練校)を選定し、上記教材①～⑥を用いて、授業を試行した。その後、現地教育関係者、実践した学校の教員、実際に指導にあたったカレン女性らと授業の内容について協議、検討し、上記教材①～⑥を適宜改訂して、次年度に備えた。さらに、普通科教育の学校、職業訓練校における「指導モジュール」試案を作成した。